

#4

Docket No. 1086.1142/JDH

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:)
)
Takashi YAMANE, et al.)
) Group Art Unit: Unassigned
Serial No.: To be assigned)
) Examiner: Unassigned
Filed: March 8, 2001)

For: **ELECTRONIC COMMERCE METHOD, RECORDING MEDIUM STORING
ELECTRONIC COMMERCE PROGRAM THEREIN AND SERVER**



**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231*

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicants submit herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-364287
Filed: November 30, 2000.

It is respectfully requested that the applicants be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,
STAAS & HALSEY LLP

Date: March 8, 2001

By: _____
James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 Eleventh Street, N.W., Suite 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

This is to certify that the annexed is a true copy of the following
application as filed with the Office.



Date of Application : November 30, 20000
Application Number : Patent Application No. Heisei 2000-364287
Applicant (s) : FUJITSU LIMITED

January 12, 2001

Commissoner, Kohzoh Oikawa
Patent Office

Certificate No. Toku 2000-3110726

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年11月30日

出 願 番 号
Application Number:

特願2000-364287

出 願 人
Applicant (s):

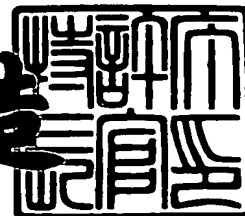
富士通株式会社



2001年 1月12日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2000-3110726

【書類名】 特許願

【整理番号】 0000958

【提出日】 平成12年11月30日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 13/00

【発明の名称】 電子商取引方法、電子商取引プログラムを格納したコンピュータ読取り可能な記録媒体及びサーバ

【請求項の数】 10

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 山根 隆志

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 藤沢 哲也

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 川口 清二

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 大西 雅士

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 河▲崎▼ 裕哉

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100079359

【住所又は居所】 東京都港区西新橋 3 丁目 2 5 番 4 7 号 清水ビル 8 階

【弁理士】

【氏名又は名称】 竹内 進

【電話番号】 03(3432)1007

【選任した代理人】

【識別番号】 100093584

【住所又は居所】 東京都港区西新橋 3 丁目 2 5 番 4 7 号 清水ビル 8 階

【弁理士】

【氏名又は名称】 宮内 佐一郎

【電話番号】 03(3432)1007

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 009287

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9704823

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 電子商取引方法、電子商取引プログラムを格納したコンピュータ読取り可能な記録媒体及びサーバ

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークを利用してクライアントとの間での商取引を行うサーバの電子商取引方法に於いて、

販売する商品を、情報と物品に分離してクライアントに選択可能な形態で提示する注文受付ステップと、

前記クライアントからの注文要求に基づいて、分離された情報、分離された物品又はその組合せを選択して前記クライアントに提供する商品提供ステップと、を備えたことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 2】

請求項 1 の電子商取引方法に於いて、前記商品提供ステップは、分離した情報を先行して提供した後に分離した物品を提供する時間差サービスを行うことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 3】

請求項 1 の電子商取引方法に於いて、前記商品提供ステップは、分離した情報と分離した物品を各々単独で提供する分離サービスを行うことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 4】

請求項 1 の電子商取引方法に於いて、前記販売する商品はパッケージ化された音楽用記録媒体であり、

前記注文受付ステップは、前記パッケージ化された音楽用記録媒体を、記録さ

れている音楽データ、パッケージ、楽譜、記録媒体そのものに分けて提示し、
前記商品提供ステップは、パッケージ化された音楽用記録媒体、音楽データ、
媒体ケース、楽譜、記録媒体又はその組合せを選択して前記クライアントに提供
することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 5】

請求項 1 の電子商取引方法に於いて、更に、注文対象となった商品の利用頻度
と保存時間を求めて前記提供形態を設定する提供形態解析ステップを設けたこと
を特徴とする電子商取引方法。

【請求項 6】

請求項 5 の電子商取引方法に於いて、前記注文受付ステップは、前記提供形態
解析ステップで設定された提供形態を、クライアントに推奨するデフォルトの提
供形態として提示することを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 7】

ネットワークを利用してクライアントとの間で電子商取引を行うサーバを構成
するコンピュータに、

販売する商品を、情報と物品に分離してクライアントに選択可能な形態で提示
する注文受付ステップと、

前記クライアントからの注文要求に基づいて、分離された情報、分離された物
品又はその組合せを選択して前記クライアントに提供する商品提供ステップと、
を実行させるための電子商取引プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な
記録媒体。

【請求項 8】

ネットワークを利用してサーバとの間で電子商取引を行うクライアントの電子
商取引方法に於いて、

前記サーバから、販売する商品につき、情報と物品に分離した選択可能な形態

で提示を受けるステップと、

利用者から、前記提示を受けた選択可能な商品の中から、商品の注文を受けるステップと、

前記商品の注文に関する情報を、前記サーバへ送信するステップと、
を備えたことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 9】

請求項 8 記載の電子商取引方法に於いて、更に、サーバから前記送信された商品の注文に関する情報を元に提供される、分離された情報または分離された物品またはその組合せを受け付けるステップを備えたことを特徴とする電子商取引方法。

【請求項 10】

ネットワークを利用してサーバとの間で電子商取引を行うクライアントを構成するコンピュータに、

前記サーバから、販売する商品につき、情報と物品に分離した選択可能な形態で提示を受けるステップと、

利用者から、前記提示を受けた選択可能な商品の中から、商品の注文を受けるステップと、

前記商品の注文に関する情報を、前記サーバへ送信するステップと、
を実行させるための電子商取引プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークを利用してクライアントとの電子商取引（EC: Electronic Commerce）をサーバで行う電子商取引方法、電子商取引プログラムを格納したコンピュータ読取り可能な記録媒体及びサーバに関し、特に、販売している商

品を情報とモノに分けて提供できるようにした電子商取引方法、電子商取引プログラムを格納したコンピュータ読取り可能な記録媒体及びサーバに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

近年、電子商取引の市場規模は大きな伸びを示しており、その商品（セグメント）も食料品等の低額なものから不動産等の高額なものまで多様化してきているが、実際に取引されている商品は「モノ(goods)」と「情報(Information)」に大きく分けることができる。

【 0 0 0 3 】

ここで言う「モノ」の取引とは、書籍やCD等の流通を介して物理的な商品を受け渡す一般的な取引を指し、これに対する「情報」の取引とは、ソフトウェアや音楽配信といったインターネットを介してダウンロードすることにより情報を受け渡す取引を指す。

【 0 0 0 4 】

ここで、注目すべき点は、これら「モノ」と「情報」の電子商取引はそれぞれが単独で行われていることである。実際に、音楽業界の取引について具体例をとると、例えば図20のようになることが知られている。これをまとめると次のようになる。

- (1) CDなどのモノを購入させる（モノの販売）。
- (2) 音楽データをパソコン端末などにダウンロードさせる（情報の販売）。
- (3) コンビニなどのキオスク端末でMDなどにコピーさせる（情報の販売）。
- (4) 商店などに設置された専用端末により、ジャケットや歌詞カードも電子配信でその場でプリントアウトできる（情報の販売）。

【 0 0 0 5 】

この様に何れの販売形態も「情報」もしくは「モノ」の単独取引である。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、店頭販売等によるパッケージ商品の市場は安定しているが、電子商取引におけるビジネス比率は少なく、現状のままでは将来的にも市場規模が飛躍的に拡大する見通しは少ないと思われる。

【 0 0 0 7 】

例えば音楽配信にあっては、電子商取引は音楽市場全体の 2 0 % 程度の市場規模にとどまり、依然パッケージやその他の市場が大半を占めるものと予想されている（2 0 0 0 年日経ネットビジネスの調査結果）。

【 0 0 0 8 】

本発明は、店頭販売等の一般取引に対し電子商取引の割合を高めることのできる電子商取引方法、電子商取引プログラムを格納したコンピュータ読取り可能な記録媒体及びサーバを提供することを目的とする。

【 0 0 0 9 】

【課題を解決するための手段】

図 1 は本発明の原理説明図である。

【 0 0 1 0 】

本発明は、ネットワーク 1 4 を利用してクライアント 1 2 との間の電子商取引をサーバ 1 0 で行う電子商取引方法であって、販売する商品 8 4 を、情報 8 6 とモノ（物品） 8 8 に分離してクライアント 1 2 に選択可能な形態で提示する注文受付ステップ（サーバ 1 0 の注文受付部 6 2 の機能）と、クライアント 1 2 からの注文要求に基づいて、分離された情報 8 6、分離された物品 8 8 又はその組合せを選択してクライアント 1 2 に提供する商品提供ステップ（サーバ 1 0 の商品提供部 6 4 の機能）を備えたことを特徴とする。

【 0 0 1 1 】

ここで商品提供ステップは、図 1（B）のように、分離した情報 8 6 を先行して提供した後に分離したモノ 8 8 を提供する時間差サービスを行う。また商品提供ステップは、分離した情報 8 6 と分離したモノ 8 8 を各々単独で提供する分離サービスを行う。

【 0 0 1 2 】

例えば、本発明の電子商取引方法で販売する商品をパッケージ化された音楽用記録媒体、即ち音楽用CDとした場合、注文受付ステップは、パッケージ化された音楽用記録媒体を、記録されている音楽データ、パッケージ、楽譜、記録媒体そのものに分けて提示し、商品提供ステップは、パッケージ化された音楽用記録媒体、音楽データ、媒体ケース、楽譜、CD媒体又はその組合せの商品提供形態を選択してクライアントに提供する。

【 0 0 1 3 】

本願発明者にとっては、例えば音楽配信等の電子商取引が音楽市場全体の20%程度の市場規模にとどまり、依然パッケージその他の市場が大半を占めると予想されている要因につき鋭意検討を重ね、次のような分析を行った。

【 0 0 1 4 】

まず消費者に提供する購買品としての情報を大きく分類すると、使い捨て情報とコレクション情報の2つに大別できる。ここで使い捨て情報とは、短時間で処分してしまう繰り返し利用することの少ない情報である。これに対しコレクション情報とは、ある程度保管することを目的とし、繰り返し利用することの多い情報である。

【 0 0 1 5 】

この使い捨て情報とコレクション情報は、図1(C)のように、利用頻度Uと保存時間Tをスケールとした二次元座標空間により位置関係を明確にできる。ここで利用頻度とは、購入した音楽用CD等の情報をある一定の期間に繰り返し聞く回数である。また保存時間とは、購入した音楽用CD等を聞かなくなって処分するまでの情報を保存している時間である。この二次元座標空間で、使い捨て情報は情報化の傾向を示し、またコレクション情報はモノ化の傾向を示している。

【 0 0 1 6 】

この二次元座標空間の位置関係から明らかなように、現在、行われている音楽配信やオンラインショッピングは、使い捨て情報とコレクション情報という両極端に位置しており、その間に広い空白部分が存在する。本願発明者は、音楽業界の電子商取引ビジネスが現在の店頭販売やレンタル店に対して市場が伸びない要因が、この空白部分にあるものと判断して本発明の成すに至ったものである。

【 0 0 1 7 】

従って、本発明は、情報とモノを巧みに組み合わせることで、利用頻度 U と保存時間 T をスケールとした二次元座標空間の空白部分埋める電子取引方法を提案する。即ち、本発明の電子商取引方法は、モノと情報のそれぞれを単独で取引に加え、モノと情報の組合せを消費者に選択可能な形態で提供することにより、情報とモノの利点を活かして消費者の購買意欲を高める。

【 0 0 1 8 】

本発明の電子商取引方法は、販売する商品は書籍の場合、注文受付ステップは、前記書籍に記録されている書籍データ、書籍そのもの、書籍ケースに分けて提示し、商品提供ステップは、書籍データ、書籍そのもの、書籍ケース又はその組合せを選択してクライアントに提供する。

【 0 0 1 9 】

また本発明の電子商取引方法は、販売する商品はパッケージ化された映像用記録媒体、例えばビデオやDVDの場合、注文受付ステップは、パッケージ化された映像用記録媒体、記録されている映像データ、媒体ケース、記録媒体そのものに分けて提示し、商品提供ステップは、パッケージ化された映像用記録媒体、映像データ、媒体ケース、記録媒体そのもの又はその組合せを選択してクライアントに提供する。もちろん、これ以外の商品についても同様である。

【 0 0 2 0 】

更に、本発明の電子商取引方法は、注文対象となった商品の利用頻度と保存時間を求めて提供形態を設定する提供形態解析ステップ（サーバマシン10の提供形態分析部70の機能）を設けたことを特徴とする。この提供形態解析ステップは、次の4つのパターンをもつ。

- （1）商品の利用頻度が低く且つ保存時間も短い場合、情報のみの提供形態（情報化）を設定する。
- （2）商品の利用頻度が度高く且つ保存時間も長い場合、商品そのものの提供形態（モノ化）を設定する。
- （3）商品の利用頻度が高く且つ保存時間が短い場合、情報と物品を組合せた提供形態を設定する。

(4) 商品の利用頻度が低いが保存時間が長い場合、情報と物品を組合せた提供形態又は商品そのものの提供形態を設定する。

【 0 0 2 1 】

このように提供形態解析ステップで設定された提供形態は、注文受付ステップでクライアントに推奨するデフォルトの提供形態として提示する。このためユーザはクライアント上で注文する商品を選択すると、サーバ側で自動的に最適と判断した商品を情報とモノに分離した場合の推奨する提供形態がユーザに示され、ユーザによる情報とモノに分けた最適な提供形態の選択が容易にできる。

【 0 0 2 2 】

提供形態解析ステップは、クライアントの注文商品に対する利用頻度と保存時間を、利用環境や好み等を予め登録したユーザ情報のデータベースを参照して求める。このためユーザは自分に見合った最適に商品の提供形態を知ることができる。

【 0 0 2 3 】

また提供形態解析ステップは、クライアントの注文商品に対する利用頻度と保存時間を、販売している商品の属性、例えば音楽用CDの場合には曲ジャンル等に対応して利用頻度と保存時間を予め登録したデータベースを参照して求め、統計的な提供形態に見合ったサービスを受けることができる。

【 0 0 2 4 】

また本発明は、電子商取引プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体を提供するものであって、サーバを構成するコンピュータに、販売する商品を、情報と物品に分離してクライアントに選択可能な形態で提示する注文受付ステップと、クライアントからの注文要求に基づいて、分離された情報、分離された物品又はその組合せを選択してクライアントに提供する商品提供ステップとを実行させるための電子商取引プログラムを記録したことを特徴とする。

【 0 0 2 5 】

【発明の実施の形態】

図2は、本発明による電子商取引を実現するネットワークシステムの説明図で

ある。

【 0 0 2 6 】

図 2 において、サーバマシン 1 0 は本発明による電子商取引の仮想店舗を構築するためのコンピュータシステムであり、本体 1 6、カラーディスプレイを用いた表示部 1 8、及びキーボードやマウスを備えた操作部 2 0 で構成される。仮想店舗を構築するサーバマシン 1 0 に対しては、インターネット 1 4 を介してクライアントマシン 1 2 が接続される。

【 0 0 2 7 】

クライアントマシン 1 2 は、サーバマシン 1 0 の仮想店舗を利用するユーザのコンピュータシステムであり、本体 2 2、カラーディスプレイを用いた表示部 2 4、及びキーボードやマウスを備えた操作部 2 6 で構成されている。

【 0 0 2 8 】

図 3 は、図 2 のネットワークシステムにおけるサーバマシン 1 0 のハードウェア構成の一例であり、クライアントマシン 1 2 についても基本的に同じ構成を備えている。

【 0 0 2 9 】

図 3 において、CPU 2 8 のバス 3 0 には、RAM 3 2、ハードディスクコントローラ 3 4、フロッピーディスクドライバ 3 6、CD-ROM ドライバ 3 8、マウスコントローラ 4 0、キーボードコントローラ 4 2、ディスプレイコントローラ 4 4 及び通信ボード 4 6 が接続されている。

【 0 0 3 0 】

ハードディスクコントローラ 3 4 はハードディスク 4 8 を接続し、本発明の電子商取引プログラムをローディングしており、サーバマシンの起動時にハードディスクドライバ 4 8 から電子商取引プログラムを読み出して、RAM 3 2 上に展開して CPU 2 8 により実行する。

【 0 0 3 1 】

フロッピーディスクドライバ 3 6 にはフロッピーディスクドライバ 5 0 が接続され、フロッピーディスクに対する読み書きができる。CD-ROM ドライバ 3 8 に対しては CD ドライバ 5 2 が接続され、CD に記憶されたデータやプログラ

ムを読み込むことができる。

【 0 0 3 2 】

マウスコントローラ 4 0 はマウス 2 0 - 1 の入力操作を CPU 2 8 に伝える。キーボードコントローラ 4 2 はキーボード 2 0 - 2 の入力操作を CPU 2 8 に伝える。ディスプレイコントローラ 4 4 は表示部 1 8 に表示を行う。通信用ボード 4 6 は通信回線 5 4 を介してインターネット 1 4 を経由してクライアントの間で通信を行う。

【 0 0 3 3 】

図 4 はネットワークを利用してクライアントとの間で電子商取引を行うサーバマシンの機能構成を示したブロック図である。

【 0 0 3 4 】

図 4 において、電子商取引における仮想店舗として機能するサーバマシン 1 0 には、WWWサーバ 6 0、提供形態分析サーバ 7 0 が設けられる。また図 3 の RAM 3 2 で実現される記憶部 6 6 には商品カタログ記憶部 6 8、提供形態解析用データベース 7 2 が設けられ、提供形態解析用データベース 7 2 にはユーザ情報 7 4 と提供形態情報 7 6 が格納されている。

【 0 0 3 5 】

更にサーバマシン 1 0 には、図 3 に示したディスプレイを用いた表示部 1 8 とキーボードやマウスなどを備えた操作部 2 0 が設けられる。更に通信ポート 7 8 を介して、外部システムとして構築されている商品配送機構 8 0 を接続している。

【 0 0 3 6 】

WWWサーバ 6 0 は、本発明による電子商取引プログラムをインストールすることにより実現され、注文受付部 6 2 と商品提供部 6 4 の機能を備えている。注文受付部 6 2 は、サーバマシン 1 0 で構築された仮想店舗で販売される商品を情報とモノ（物品）に分離して、クライアントマシン 1 2 側に選択可能な形態、具体的には注文画面として提示する。

【 0 0 3 7 】

商品提供部 6 4 はクライアントマシン 1 2 からの注文要求に基づいて、分離さ

れた情報単独、分離されたモノ単独、更にモノと情報を組み合わせた形態により、クライアントマシン 1 2 のユーザに商品を提供する。この商品提供部 6 4 によりユーザに提供される電子商取引のサービスとして本発明にあっては、時間差サービスと分離サービスを提供する。

【 0 0 3 8 】

ここで時間差サービスとは、商品を情報とモノに分離し、分離した情報を先行して提供した後に分離したモノを提供することである。また分離サービスとは、商品を情報とモノに分離し、それぞれ単独で提供することである。

【 0 0 3 9 】

更に本発明のサーバマシン 1 0 にあっては、WWWサーバ 6 0 で提供されるモノ単独の取引、情報単独の取引、更にモノと情報を組み合わせた取引をユーザに選択可能とするものであるが、ユーザに対しどのような提供形態が最適であるかをデフォルト情報として提示するための提供形態分析サーバ 7 0 を設けている。

【 0 0 4 0 】

提供形態分析サーバ 7 0 は、記憶部 6 6 に設けている提供形態解析用データベース 7 2 のユーザ情報 7 4 あるいは販売している商品に対応した提供形態情報 7 6 を参照し、ユーザにとって望ましい提供形態即ち、モノ単独か情報単独か、モノと情報の組み合わせかをデフォルト設定情報として提示する。この提供形態の解析処理には、本発明の電子商取引における基本的な分析項目である利用頻度と保存時間という 2 つの項目に基づいた分析を行っている。

【 0 0 4 1 】

サーバマシン 1 0 に対しインターネット 1 4 を介して接続されたクライアントマシン 1 2 は、WWWブラウザ 8 2、図 3 に示したキーボードやマウスを備えた操作部 2 6、またカラーディスプレイなどを用いた表示部 2 4 を備えている。

【 0 0 4 2 】

WWWブラウザ 8 2 は、電子商取引を提供しているサーバマシン 1 0 のホームページにアクセスすることで電子商取引に必要な各種の取引画面を受信表示し、この表示画面に対応した商品の選択、注文、ユーザ情報の設定など、各種の電子商取引に必要な操作を行うことになる。

【 0 0 4 3 】

次に本発明の電子商取引において、販売する商品をモノと情報に分離し、モノと情報のそれぞれを単独で提供する形態に加え、モノと情報を組み合わせた形態を提供するというコンセプトを確立するに至る本願発明者による考察を説明する。

【 0 0 4 4 】

図5は、本発明の電子商取引で販売する商品における保存時間と利用頻度の2次元空間における情報とモノの位置関係を表している。本願発明者の考察によれば、通常の販売形態及び音楽配信などの電子商取引において、消費者に提供する情報という購買品について整理した場合、情報は使い捨て情報とコレクション情報に大別される。

【 0 0 4 5 】

この使い捨て情報とコレクション情報は、図5のように利用頻度Uと保存時間Tの2次元座標空間の位置として表すことができる。即ち、使い捨て情報94は短時間で処分してしまう繰り返しの利用度の少ない情報であり、利用度Uが低く保存時間Tが短い座標空間の位置に存在する。

【 0 0 4 6 】

これに対しコレクション情報96は、ある程度保管することを目的とし且つ繰り返し利用度が高い情報であり、したがって利用度Uが高く保存時間Tが長い情報として図5の2次元座標空間に位置付けられる。

【 0 0 4 7 】

そして使い捨て情報94は情報化の傾向を持ち、これに対しコレクション情報96はモノ化の傾向を持っている。即ち図5の2次元座標空間において、利用頻度Uと保存時間Tで決まる座標位置が、左斜め下に向かうほど情報化の傾向が強くなり、右斜め上に向かうほどモノ化の傾向が強くなる。

【 0 0 4 8 】

図6は、図5の利用頻度Uと保存時間Tについて、音楽市場を例にとって、通常の店頭販売とレンタル、及び電子商取引で行われている音楽配信とオンラインショッピングについて、その位置関係を表し、その面積サイズにより市場の比率

を表している。

【 0 0 4 9 】

まず電子商取引の主流である音楽配信 9 8 にあっては、情報のみの取引であることから利用頻度 U が低く、また保存時間 T も短い使い捨て情報 9 4 側に位置しており、現状では 2 0 % 程度にとどまっている。また同じ電子商取引であるオンラインショッピング 1 0 4 にあっては、利用頻度 U が高くまた保存時間 T も長いことから、コレクション情報 9 6 側に位置しており、その市場割合は 8 % となっている。

【 0 0 5 0 】

これに対し電子商取引ではない通常の取引であるレンタル 1 0 0 にあっては、利用頻度 U は比較的高く、一方、保存するモノではないことから保存時間 T は短く、使い捨て情報 9 4 と同じ保存時間 T の位置に位置するが、利用頻度 U にあってはコレクション情報 9 6 に近い領域となっており、その市場割合は 3 6 % である。

【 0 0 5 1 】

また電子商取引ではない通常の店頭販売 1 0 2 にあっては、完全にモノ単独の取引であり、利用頻度 U が高くまた保存時間 T も長いことから、オンラインショッピング 1 0 4 の場合と同様、コレクション情報 9 6 側に位置し、市場割合は 3 6 % となっている。

【 0 0 5 2 】

この図 6 の 2 次元座標空間における音楽市場の販売形態の位置関係をみると、電子商取引である音楽配信 9 8 とオンラインショッピング 1 0 4 は使い捨て情報 9 4 とコレクション情報 9 6 の両極端に位置しており、その間を電子商取引ではないレンタル 1 0 0 や店頭販売 1 0 2 が埋めていることが分かる。

【 0 0 5 3 】

そこで本願発明者には、この図 6 の座標空間における電子商取引の音楽配信 9 8 とオンラインショッピング 1 0 4 の間の空間を埋める新たな電子商取引の形態を構築し、電子商取引における市場割合を向上させるものである。

【 0 0 5 4 】

このため本願発明者にとっては、電子商取引で販売する商品をモノと情報に分離する。そしてモノ単独の取引、情報単独の取引に加え、新たにモノと情報を組み合わせてユーザに選択可能な形態で提供する取引を構築する。

【 0 0 5 5 】

図 7 は、本発明の電子商取引で実現される時間差サービスと分離サービスの説明図である。図 7 において、電子商取引で販売される商品 8 4 は情報 8 6 とモノ 8 8 で構成されている。商品 8 4 として例えば音楽 CD を例にとると、情報 8 6 は楽曲データであり、モノ 8 8 はジャケットやケース、歌詞カード、CD である。

【 0 0 5 6 】

本発明においては、このような商品 8 4 を情報 8 6 とモノ 8 8 に分離して提供するもので、具体的には時間差サービス 9 0 と分離サービス 9 2 を提供する。時間差サービス 9 0 とは、ユーザが商品を発注してから実際に配送された商品を受け取るまでのタイムラグを、有料な情報のみを先行して提供することにより埋めてしまうサービスである。

【 0 0 5 7 】

例えば本や雑誌などの書籍販売の場合、発注された時点で電子データをダウンロードし、実際の本は後で入手するという仕組みである。即ち時間差サービス 9 0 は、情報 8 8 を先行して提供した後に商品 8 4 を入手させる仕組みとなる。

【 0 0 5 8 】

分離サービス 9 2 は、元来、情報とモノが組み合わさった商品を敢えて情報とモノに分離し、ユーザの元に別々に提供する仕組みである。例えば音楽 CD の場合、楽曲データは音楽配信などにより提供し、後にジャケットや歌詞カードを提供したり、もしくは音楽 CD 単独で販売する仕組みである。即ち分離サービス 9 2 は商品 8 4 を情報 8 6 とモノ 8 8 に分離して提供する仕組みとなる。

【 0 0 5 9 】

なお商品 8 4 を構成するモノ 8 8 については、例えば音楽 CD のようにジャケット、歌詞カード、ケース、CD というように複数のものから構成されている場合があり、この場合にはモノについての複数の中のいずれか 1 つもしくは任意の

組み合わせをユーザに選択可能な形態で提供する。

【 0 0 6 0 】

この図 7 に示すような新たな電子商取引である時間差サービス 9 0 と分離サービス 9 2 を提供することによって、図 8 のように既存の音楽配信 9 8 とオンラインショッピング 1 0 4 の間の空白を時間差サービス 9 0 と分離サービス 9 2 が埋めることになり、このような新たな電子商取引の取引形態を本願発明により構築することで、電子商取引の市場割合を大幅に向上することが期待できる。

【 0 0 6 1 】

図 9 は、図 4 のサーバマシン 1 0 により音楽配信に本発明の電子商取引を提供した場合の注文画面であり、販売商品として音楽 CD を例にとっている。

【 0 0 6 2 】

図 9 において、CD 注文画面 1 1 0 は、図 4 のクライアントマシン 1 2 の WWW ブラウザ 8 2 を使用してユーザがサーバマシン 1 0 の WWW サーバ 6 0 から音楽 CD の商品カタログを取得し、買いたい音楽 CD を選択すると、サーバマシン 1 0 の WWW サーバ 6 0 に設けている注文受付部 6 2 の機能により図 9 のような CD 注文画面 1 1 0 がクライアントマシン 1 2 の表示部 2 4 に表示される。

【 0 0 6 3 】

この CD 注文画面 1 1 0 は、左上隅にタイトル 1 1 1 を持ち、その下に音楽 CD を構成するものとしてジャケット 1 1 2、歌詞カード 1 1 4、CD 1 1 6 を示し、更に情報として曲データ 1 1 8 を示している。

【 0 0 6 4 】

このグラフィックス表示されたモノ及び情報に対応して、矢印で示すように右側にモノの名前及び情報の名前、更にそれぞれについて注文設定を行うためのチェックボックスを表示しており、モノの組み合わせについては CD パッケージとしてのチェックボックスを設けている。また曲データについては、チェックボックスと同時に、選択した曲数が表示できるようにしている。曲データにおける曲の選択は、曲目選択キー 1 2 4 の操作で曲目選択画面へ移って行うことができる。

【 0 0 6 5 】

CD注文画面 1 1 0 の下部には配信選択部 1 2 0 が設けられている。配信選択部 1 2 0 は情報とモノに分けて設けられている。この例では「データの受付方法」として、例えばキオスク端末と今すぐダウンロードが表示されている。またモノについては「物品の受け取り方法」としてコンビニ、CDショップ、宅配便が選択できるようにしている。

【 0 0 6 6 】

この図 9 のような CD 注文画面 1 1 0 の提示を受けたユーザは、自分に必要なモノを適切に選択し組み合わせて購入することができる。例えば曲データについては、すぐに入手したい場合には曲データのチェックボックスをクリックし且つ曲目を選択し、配信選択部 1 2 0 について「今すぐダウンロード」をクリックすればよい。

【 0 0 6 7 】

また曲データをダウンロードした後に通常の店頭販売と同じ音楽 CD を入手したい場合には、CD パッケージのチェックボックスをクリックすればよい。この場合の料金は、例えばダウンロードした音楽データが 1 0 曲であることから、これで 2 0 0 0 円、CD パッケージにあっては曲データ購入の場合であることから 2 0 0 円の合計 2 2 0 0 円の購入金額がかかる。

【 0 0 6 8 】

もちろん、モノについてはジャケットケースや歌詞カードのみを購入することもできる。また曲データについては、音楽 CD の全曲を選択する必要はなく、好みの曲だけを選択できるので、この好みの曲を選んで CD をモノとして購入した場合には、音楽 CD そのものではなく自作の CD に相当する音楽 CD を購入することが可能となる。

【 0 0 6 9 】

図 1 0 は本発明による電子商取引でユーザに提示される書籍注文画面である。図 1.0 において、書籍注文画面 1 3 0 は、タイトル 1 3 2、ブックケース 1 3 4、書庫 1 3 6 及び書庫データ 1 3 8 に分けられており、それぞれにつき値段が設定され、チェックボックスにより単独もしくは組み合わせをもって購入できるようにしている。また配信選択部 1 4 2 は、データの受け取り方法と物品の受け取

り方法が選択できるようにしている。また書庫 1 3 6 にあっては、書庫選択キー 1 4 4 により書庫選択画面に移ることができる。更に注文キー 1 4 6 が設けられる。

【 0 0 7 0 】

この場合には、書庫データ 1 3 8 をクリックし、ダウンロードで受け取るようにしており、またその後にパッケージとして書籍そのものをコンビニで受け取るようにしている。もちろんモノについては、ブックケース、書庫に分けて単独で購入することもできる。

【 0 0 7 1 】

図 1 1 は本発明の電子商取引でユーザに提供されるビデオ注文画面の説明図である。図 1 1 において、ビデオ注文画面 1 5 0 は、タイトル 1 5 2 に続いてグラフィックス表示により、ビデオケース 1 5 4、ビデオテープ 1 5 6、DVD 1 5 8 のモノが示され、続いて情報として映像データ 1 6 0 を購入形態として示している。

【 0 0 7 2 】

この例では映像データ 1 6 0 を先にダウンロードし、パッケージについてはコンビニで受け取るようにしている。この場合、ビデオテープを選択していることから、値段的には映像データ 1 5 0 0 円、ビデオテープ 5 0 0 円の合計 2 0 0 0 円となる。ユーザが購入選択を決めたら、購入キー 1 6 4 を押せばよい。また別のビデオを注文したい場合には映像選択キー 1 6 6 を押すことでカタログ画面に戻ることができる。

【 0 0 7 3 】

このように図 9 ～図 1 1 にあっては、音楽 CD、書籍、ビデオの注文画面を例にとるものであったが、これ以外に販売する商品が情報とモノに分離できるモノであれば、モノと情報の組み合わせをユーザに選択可能な形態で提供することができる。

【 0 0 7 4 】

図 1 2 は、図 4 の WWW サーバ 6 0 による本発明の電子商取引のフローチャートである。まずステップ S 1 でクライアントマシン 1 2 からのアクセスに対し電

子商取引における商品カタログ画面を表示させる。

【 0 0 7 5 】

このカタログ画面に対し、ステップ S 2 でクライアントマシン 1 2 からの商品選択があると、ステップ S 3 で提供形態分析サーバ 7 0 の処理によりユーザが選択した商品に対応するモノと情報の最適な組み合わせを利用頻度と保存時間から求め、モノと情報の最適な組み合わせである商品提供形態をセットしたデフォルトの商品注文画面をステップ S 4 でクライアントマシン 1 2 に提示する。なおステップ S 3 の提供形態分析サーバ 7 0 による商品提供形態の自動設定処理は後の説明で明らかにする。

【 0 0 7 6 】

このステップ S 4 の処理により、例えば図 9 ～図 1 1 に示したような注文画面がクライアントマシン 1 2 でユーザに対し表示される。この商品注文画面に基づき、ステップ S 5 でクライアントマシン 1 2 から注文を受けると、ステップ S 6 でユーザ選択の形態による商品提供処理を行う。

【 0 0 7 7 】

即ち、情報の購入であればインターネット 1 4 を介してクライアントマシン 1 2 にデータをダウンロードする。また同時に、モノの注文があれば、外部の商品発送機構 8 0 に対し注文で受け付けたモノの配送に関する指示をオンラインで行う。そしてステップ S 7 で終了操作を認識すると、一連の処理を終了する。

【 0 0 7 8 】

次に図 1 4 のサーバマシン 1 0 に設けている提供形態分析サーバ 7 0 の処理を説明する。提供形態分析サーバ 7 0 は、WWWサーバ 6 0 によるモノと商品の組み合わせを選択可能な形態で注文画面としてクライアントマシン 1 2 に表示させる際に、選択した商品について最適な提供形態がどのようなものであるかを解析し、解析した提供形態をデフォルト情報として注文画面にセットしてクライアントマシン 1 2 のユーザに提示する。

【 0 0 7 9 】

この最適提供形態を得るための解析は、提供形態解析用データベース 7 2 に設定しているユーザ情報 7 4 を使用して行うことができる。このユーザ情報 7 4 は

例えば図13に示すようなアンケート情報から生成することができる。

【0080】

図13のアンケート情報は音楽配信を例にとっており、アンケート項目として利用環境と好みの音楽に大別している。利用環境としては、その詳細に示すように通勤途中、ドライブ中、自宅余暇時間、工作中、その他に分かれている。好みの音楽としては、曲、ジャンルによって、最新曲、歌謡曲、演歌、ポップス、ジャズ、クラシック、癒しBGM、その他に分類されている。この場合、ユーザは利用環境として「通勤途中」を選択し、また好みの音楽として「歌謡曲」「ポップス」を選んでいる。

【0081】

このようなユーザアンケート情報に基づき図4のデータベースのユーザ情報74としては、例えば図14のようなユーザ情報が作成される。即ち図13のアンケート情報で答えたユーザID「aaaa」に対応して、利用環境として「通勤途中」、及び好みの音楽として「歌謡曲」「ポップス」が設定される。

【0082】

このようなユーザ情報74に対応して、図4の提供形態分析サーバ70には、図15のような利用環境変換テーブルが設けられている。この利用環境変換テーブルは、図13のアンケート情報の利用環境の詳細に対応して利用頻度と保存時間の関係が予め定義されている。

【0083】

例えば通勤途中にあっては、利用頻度は低くまた保存時間も短い使い捨て情報として捉えている。同様にドライブ中にあっても同じである。これに対し自宅余暇時間については、利用頻度も高く保存時間も長いコレクション情報と見なしている。更に工作中にあっては、利用頻度は低いが保存時間は長い情報と捉えている。

【0084】

したがって提供形態分析サーバ70にあっては、クライアントマシン12からユーザが音楽CDの選択を行った場合、そのユーザIDから図14のようなユーザ情報74を参照し、利用頻度は「低い」、保存時間は「短い」を取得する。

【 0 0 8 5 】

更に図 4 の提供形態分析サーバ 7 0 には、図 1 6 のような保存時間 T と利用頻度 U に対する 2 次元座標空間におけるフィールド A, B, C, D を定義している。この 2 次元座標空間を取得した保存時間 T と利用頻度 U で参照することによりフィールド番号を取得することができる。

【 0 0 8 6 】

通勤途中の場合、利用頻度 U は「低い」、保存時間 T は「短い」であることから、図 1 6 の座標空間からフィールド A が取得できる。このようにしてフィールド A が取得できたならば、図 1 7 のフィールド番号と提供形態の対応関係を格納した変換テーブルの参照により、フィールド番号 A の場合には「情報のみ」の提供形態を取得することができる。

【 0 0 8 7 】

したがって、この場合には例えば図 9 の C D 注文画面 1 1 0 における曲データのみのチェックボックス、及び「今すぐダウンロード」のチェックボックスについて「情報のみ」に対応した提供形態を選択設定した注文画面をデフォルト推奨画面としてクライアントマシン 1 2 に表示させる。

【 0 0 8 8 】

一方、図 1 4 に示すようなユーザ情報 7 4 が存在しなかった場合には、販売商品について予め準備されている提供形態情報 7 6 を使用する。

【 0 0 8 9 】

図 1 8 は、図 4 の提供形態解析用データベース 7 4 に格納されている提供形態情報 7 6 の説明図である。この提供形態情報 7 6 は音楽配信を例にとっており、項目として曲ジャンル、情報の分類、利用頻度、保存時間、フィールド番号、提供形態、利用形態蓄積から構成されている。

【 0 0 9 0 】

曲ジャンルには、最新曲、歌謡曲などが格納されている。情報の分類は統計的な結果として、最新曲は使い捨て、歌謡曲は繰り返し、演歌は繰り返しなどというように予め分類されている。更に曲ジャンルのそれぞれについて統計的に得られた利用頻度及び保存時間が設定されている。

【 0 0 9 1 】

併せて図 1.6 の座標空間の参照で得られたフィールド番号が登録され、更に図 1 7 の変換テーブルから得られたフィールド番号に対応した提供形態が登録されている。最後の「利用形態蓄積」は最終的にユーザが購入を行った際の提供形態の履歴情報を格納している。

【 0 0 9 2 】

具体的にはフィールド A ～ D ごとに、ユーザが購入を行った提供形態の回数をカウント CA, CB, CC, CD として備えており、注文確定ごとに各カウンタの値が更新される。そして、ある周期ごとに利用形態蓄積のカウント CA ～ CD を参照し、最も回数の多いカウントに対応したフィールド番号の提供形態に更新するようにする。

【 0 0 9 3 】

図 1 9 は、図 4 の提供形態分析サーバ 7 0 による処理のフローチャートであり、図 1 2 のステップ S 4 に示した商品提供形態の自動設定処理の詳細を示したサブルーチンとなる。

【 0 0 9 4 】

図 1 9 において、まずステップ S 1 でユーザ ID とユーザがカタログから選択した曲情報を取り込む。次にステップ S 2 でユーザ登録の有無をチェックし、ユーザ登録があれば、ステップ S 3 でデータベースのユーザ情報を参照し、ステップ S 4 でユーザの好みの音楽及び利用形態などに基づき、利用頻度と保存時間を取得する。もしステップ S 2 でユーザ登録がなければ、図 1 8 の提供形態情報 7 6 を曲ジャンルにより参照して、利用頻度と保存時間を取得する。

【 0 0 9 5 】

続いてステップ S 6 で利用頻度と保存時間から図 1 6 のような 2 次元座標空間におけるフィールドを認識し、ステップ S 7 で認識したフィールドに対応する提供形態を取得し、この推奨する提供形態をデフォルトとして設定した注文画面をユーザに提示し、図 1 2 のメインルーチンにリターンする。

【 0 0 9 6 】

もちろん本発明にあっては、図 1 9 に示すような商品提供形態の設定処理を行

わずに全てユーザ側でのモノと情報に分離した購入商品の選択に任せてもよい。
この自動的に行う商品提供形態の設定は、ユーザからの提供形態の設定要求を受けて行うようにしてもよい。

【 0 0 9 7 】

次に、本発明により提供される電子商取引を行うサーバにインストールされる電子商取引プログラムを格納した記録媒体について説明する。本発明の電子商取引プログラムは、CD-ROMやフロッピーディスクなどの可搬型記憶媒体に記憶され、図3のハードウェア構成を持つサーバマシン10におけるCD-ROMドライバ38やフロッピーディスクドライバ36にセットされた状態でインストールされてハードディスクドライブ48に記憶され、ここから主記憶としてのRAM32に展開され、CPU28により実行されることで、モノと情報に分けて時間差サービス及びまたは分離サービスを提供する電子商取引の機能を実現する。

【 0 0 9 8 】

また本発明の電子商取引プログラムは、ネットワークを介して接続される他の装置の記録媒体に記録され、通信制御装置を利用してダウンロードして取得し、自装置の補助記憶装置や主記憶装置に格納するようにしてもよい。

【 0 0 9 9 】

この本発明の電子商取引プログラムは

(1) 販売される商品を情報とモノに分離してクライアントに選択可能な形態で提示する注文受付ステップと、

(2) クライアントからの注目要求に基づいて、分離された情報、分離されたモノ、またはその組み合わせを選択してクライアントに提供する商品提供ステップを基本的に備える。

【 0 1 0 0 】

尚、本発明は、上記の実施形態に限定されず、その目的と利点を損うことのない適宜の変形を含む。また、本発明は、上記の実施形態に示した数値による限定を受けない。

(付記)

(付記 1)

ネットワークを利用してクライアントとの間での商取引を行うサーバの電子商取引方法に於いて、

販売する商品を、情報と物品に分離してクライアントに選択可能な形態で提示する注文受付ステップと、

前記クライアントからの注文要求に基づいて、分離された情報、分離された物品又はその組合せを選択して前記クライアントに提供する商品提供ステップと、を備えたことを特徴とする電子商取引方法。(1)

(付記 2)

付記 1 の電子商取引方法に於いて、前記商品提供ステップは、分離した情報を先行して提供した後に分離した物品を提供する時間差サービスを行うことを特徴とする電子商取引方法。(2)

(付記 3)

付記 1 の電子商取引方法に於いて、前記商品提供ステップは、分離した情報と分離した物品を各々単独で提供する分離サービスを行うことを特徴とする電子商取引方法。(3)

(付記 4)

付記 1 の電子商取引方法に於いて、前記販売する商品はパッケージ化された音楽用記録媒体であり、

前記注文受付ステップは、前記パッケージ化された音楽用記録媒体を、記録されている音楽データ、パッケージ、楽譜、記録媒体そのものに分けて提示し、

前記商品提供ステップは、パッケージ化された音楽用記録媒体、音楽データ、媒体ケース、楽譜、記録媒体又はその組合せを選択して前記クライアントに提供することを特徴とする電子商取引方法。(4)

(付記 5)

付記 1 の電子商取引方法に於いて、前記販売する商品は書籍であり、
前記注文受付ステップは、前記書籍に記録されている書籍データ、書籍そのもの、
書籍ケースに分けて提示し、
前記商品提供ステップは、書籍データ、書籍そのもの、書籍ケース又はその組合
せを選択して前記クライアントに提供することを特徴とする電子商取引方法。

(付記 6)

付記 1 の電子商取引方法に於いて、前記販売する商品はパッケージ化された映像
用記録媒体であり、
前記注文受付ステップは、前記映像用記録媒体を、映像データ、媒体ケース、記
録媒体そのものに分けて提示し、
前記商品提供ステップは、映像用記録媒体、映像データ、媒体ケース、記録媒体
そのもの又はその組合せを選択して前記クライアントに提供することを特徴とす
る電子商取引方法。

(付記 7)

付記 1 の電子商取引方法に於いて、更に、注文対象となった商品の利用頻度と保
存時間を求めて前記提供形態を設定する提供形態解析ステップを設けたことを特
徴とする電子商取引方法。(5)

(付記 8)

付記 7 の電子商取引方法に於いて、前記提供形態解析ステップは、商品の利用頻
度が低く且つ保存時間も短い場合、情報のみの提供形態を設定することを特徴と
する電子商取引方法。

(付記 9)

付記 7 の電子商取引方法に於いて、前記提供形態解析ステップは、商品の利用頻
度高く且つ保存時間も長い場合、商品そのものの提供形態を設定することを特徴



とする電子商取引方法。

(付記 1 0)

付記 7 の電子商取引方法に於いて、前記提供形態解析ステップは、商品の利用頻度高く且つ保存時間が短い場合、情報と物品を組合せた提供形態を設定することを特徴とする電子商取引方法。

(付記 1 1)

付記 7 の電子商取引方法に於いて、前記提供形態解析ステップは、商品の利用頻度が低いが保存時間が長い場合、情報と物品を組合せた提供形態又は商品そのものの提供形態を設定することを特徴とする電子商取引方法。

(付記 1 2)

付記 7 の電子商取引方法に於いて、前記注文受付ステップは、前記提供形態解析ステップで設定された提供形態を、クライアントに推奨するデフォルトの提供形態として提示することを特徴とする電子商取引方法。(6)

(付記 1 3)

付記 7 の電子商取引方法に於いて、前記提供形態解析ステップは、前記クライアントの注文商品に対する利用頻度と保存時間を、利用環境や好み等を予め登録したユーザ情報のデータベースを参照して求めることを特徴とする電子商取引方法。

(付記 1 4)

付記 7 の電子商取引方法に於いて、前記提供形態解析ステップは、前記クライアントの注文商品に対する利用頻度と保存時間を、販売している商品の属性に対応して利用頻度と保存時間を予め登録したデータベースを参照して求めることを特徴とする電子商取引方法。



(付記 1 5)

ネットワークを利用してクライアントとの間で電子商取引を行うサーバを構成するコンピュータに、

販売する商品を、情報と物品に分離してクライアントに選択可能な形態で提示する注文受付ステップと、

前記クライアントからの注文要求に基づいて、分離された情報、分離された物品又はその組合せを選択して前記クライアントに提供する商品提供ステップと、
を実行させるための電子商取引プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。(7)

(付記 1 6)

付記 1 5 の記録媒体に於いて、更に、注文対象となった商品の利用頻度と保存時間を求めて前記提供形態を設定する提供形態解析ステップをコンピュータに実行させることを特徴とする記録媒体。(8)

(付記 1 7)

ネットワークを利用してサーバとの間で電子商取引を行うクライアントの電子商取引方法に於いて、

前記サーバから、販売する商品につき、情報と物品に分離した選択可能な形態で提示を受けるステップと、

利用者から、前記提示を受けた選択可能な商品の中から、商品の注文を受けるステップと、

前記商品の注文に関する情報を、前記サーバへ送信するステップと、
を備えたことを特徴とする電子商取引方法。(9)

(付記 1 8)

付記 1 7 記載の電子商取引方法に於いて、更に、サーバから前記送信された商品の注文に関する情報を元に提供される、分離された情報または分離された物品またはその組合せを受け付けるステップを備えたことを特徴とする電子商取引方



法。

(付記 1 9)

ネットワークを利用してサーバとの間で電子商取引を行うクライアントを構成するコンピュータに、

前記サーバから、販売する商品につき、情報と物品に分離した選択可能な形態で提示を受けるステップと、

利用者から、前記提示を受けた選択可能な商品の中から、商品の注文を受けるステップと、

前記商品の注文に関する情報を、前記サーバへ送信するステップと、
を実行させるための電子商取引プログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体。(10)

(付記 2 0)

ネットワークを利用してクライアントとの間で電子商取引を行うサーバに於いて、

販売する商品を、情報と物品に分離してクライアントに選択可能な形態で提示する注文受付部と、

前記クライアントからの注文要求に基づいて、分離された情報、分離された物品又はその組合せを選択して前記クライアントに提供する商品提供部と、
を備えたことを特徴とするサーバ。

(付記 2 1)

付記 2 0 のサーバに於いて、更に、注文対象となった商品の利用頻度と保存時間を求めて前記提供形態を設定する提供形態解析部を設けたことを特徴とするサーバ。

【0101】

【発明の効果】

以上説明してきたように本発明によれば、販売する商品をモノ（物品）と情報に分離し、モノ単独の取引及び情報単独の取引に加え、モノと情報を組み合わせて消費者に選択可能な形態で提供することにより、モノと情報のそれぞれの利点を生かして消費者の購買意欲を高め、新たな付加価値が生まれるモノと情報の組み合わせにより、電子商取引における通常の販売市場に対する割合を大幅に向上し、活発な電子商取引の市場が構築できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の原理説明図

【図 2】

本発明の電子商取引を行うネットワークシステムの説明図

【図 3】

図 2 のサーバマシンのハードウェア構成図

【図 4】

本発明の電子商取引を実行するサーバ及びクライアントの機能構成のブロック図

【図 5】

保存時間と利用頻度の二次元座標空間における情報とモノの位置関係の説明図

【図 6】

既存の音楽業界における販売形態の説明図

【図 7】

本発明における時間差サービスと分離サービスの説明図

【図 8】

本発明の時間差サービスと分離サービスを加えた販売形態の説明図

【図 9】

音楽配信における本発明の電子商取引に使用するユーザ提示画面の説明図

【図 10】

書籍配信における本発明の電子商取引に使用するユーザ提示画面の説明図

【図 11】

ビデオ配信における本発明の電子商取引に使用するユーザ提示画面の説明図

【図 1 2】

本発明による電子商取引のフローチャート

【図 1 3】

図 4 の提供形態分析に使用するユーザアンケート情報の説明図

【図 1 4】

図 1 3 のユーザアンケート情報から作成したユーザ情報の説明図

【図 1 5】

ユーザ利用形態を利用頻度と保存時間に変換する変換テーブルの説明図

【図 1 6】

利用頻度と保存時間の二次元座標空間の説明図

【図 1 7】

図 1 6 に基づくフィールド番号と提供形態の対応テーブルの説明図

【図 1 8】

図 4 の提供形態分析に使用する提供形態情報の説明図

【図 1 9】

図 1 2 における商品提供形態の自動設定処理のフローチャート

【図 2 0】

音楽業界における商取引の一覧説明図

【符号の説明】

1 0 : サーバマシン (サーバ)

1 2 : クライアントマシン (クライアント)

1 4 : インターネット

1 6, 2 2 : 本体

1 8, 2 4 : 表示部

2 0, 2 6 : 操作部

6 0 : WWWサーバ

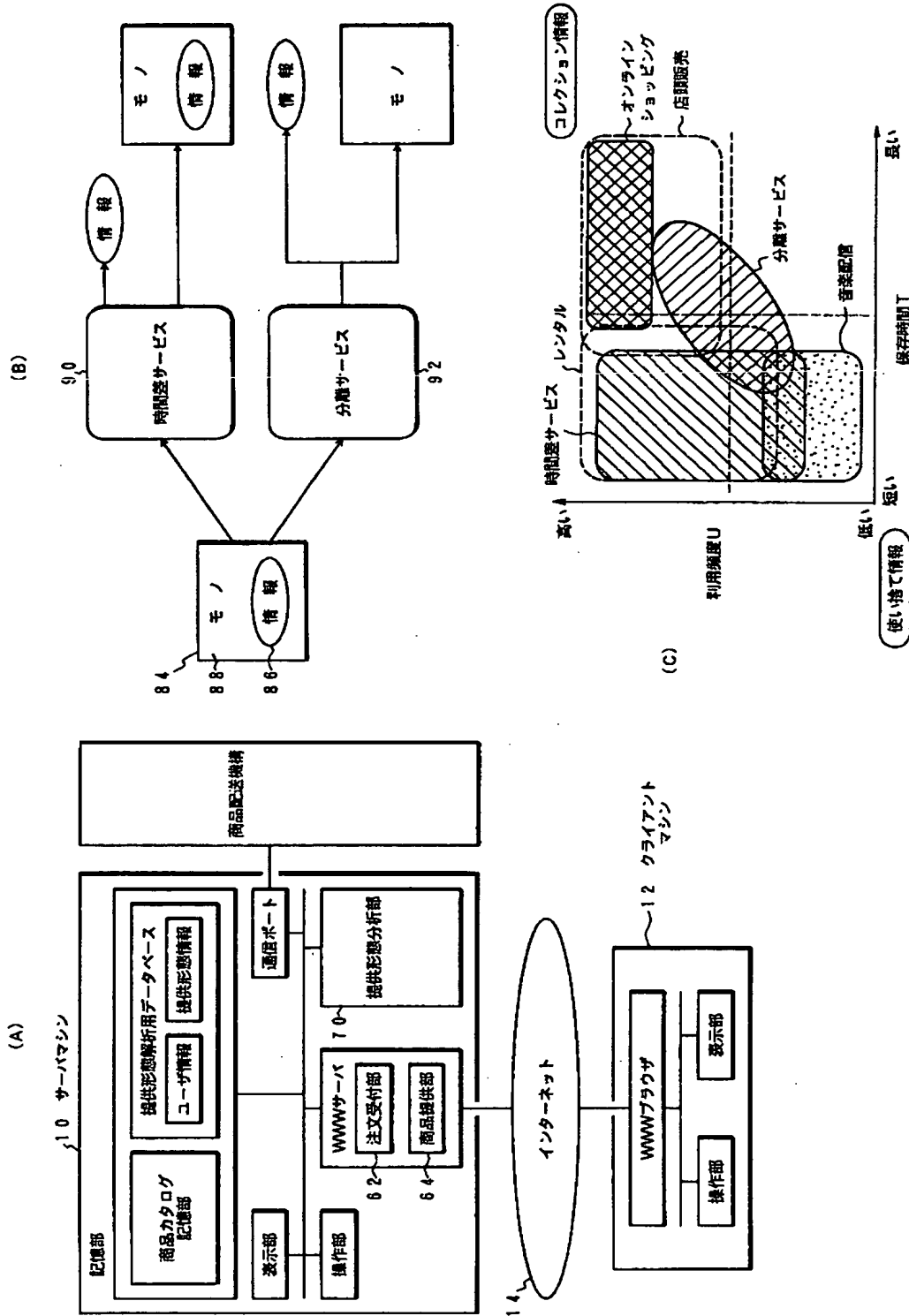
6 2 : 注文受付部

- 6 4 : 商品提供部
- 6 6 : 記憶部
- 6 8 : 商品カタログ記憶部
- 7 0 : 提供形態分析サーバ (提供形態分析部)
- 7 2 : 提供形態解析用データベース
- 7 4 : ユーザ情報
- 7 6 : 提供形態情報
- 7 8 : 通信ポート
- 8 0 : 商品配送機構
- 8 2 : WWWブラウザ
- 9 0 : 時間差サービス
- 9 2 : 分離サービス

【書類名】 図面

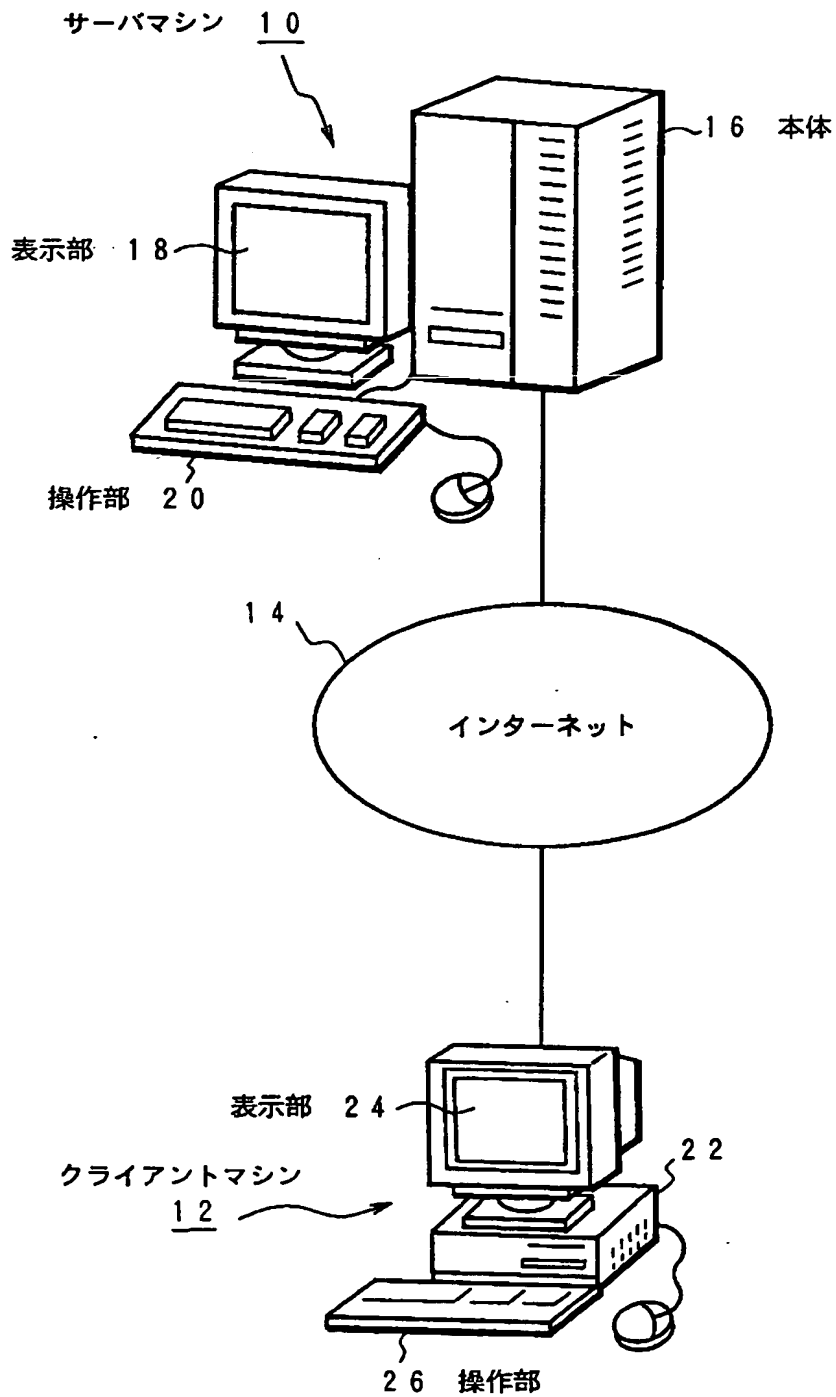
【図 1】

本発明の原理説明図



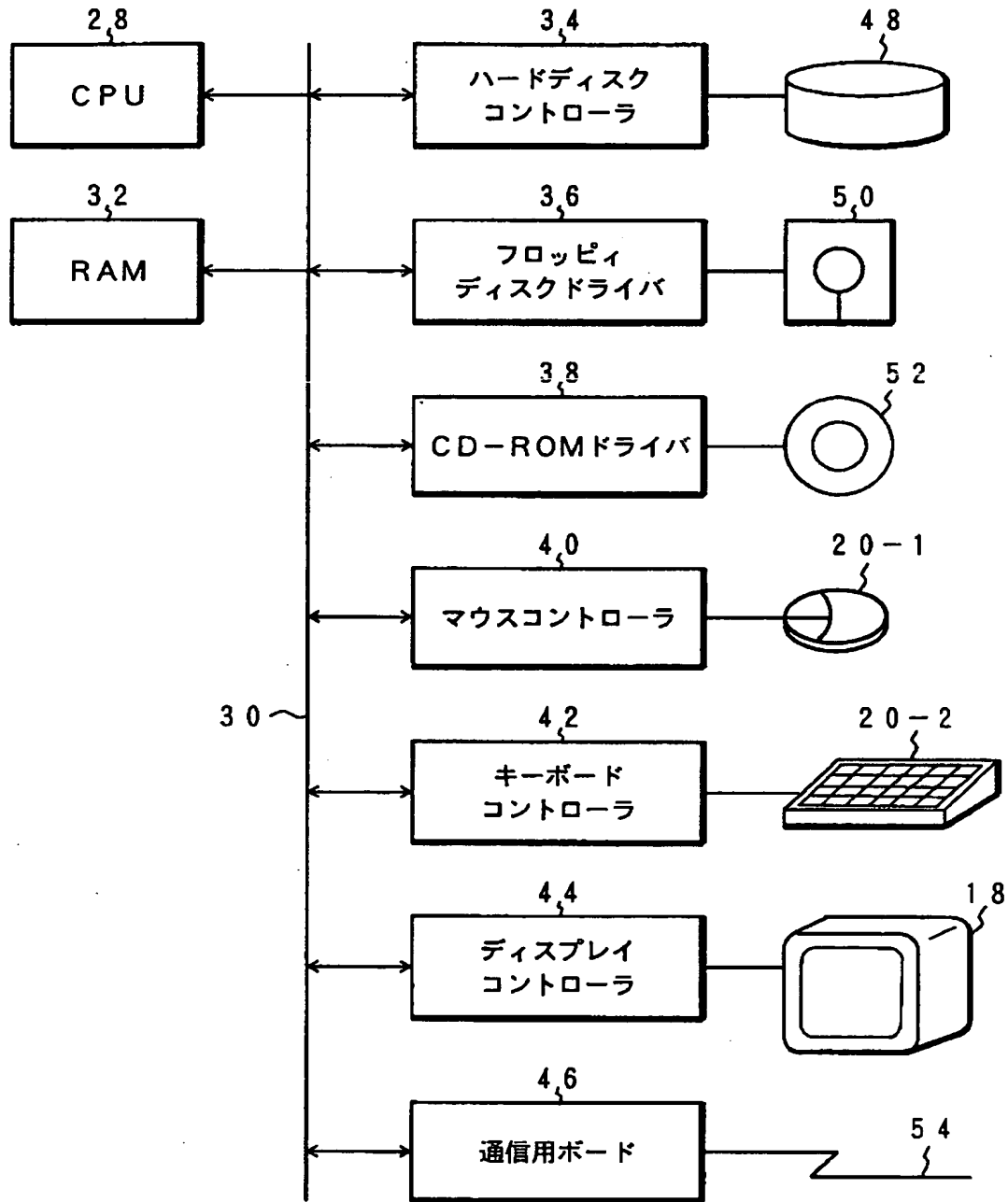
【図 2】

本発明の電子商取引を行うネットワークシステムの説明図



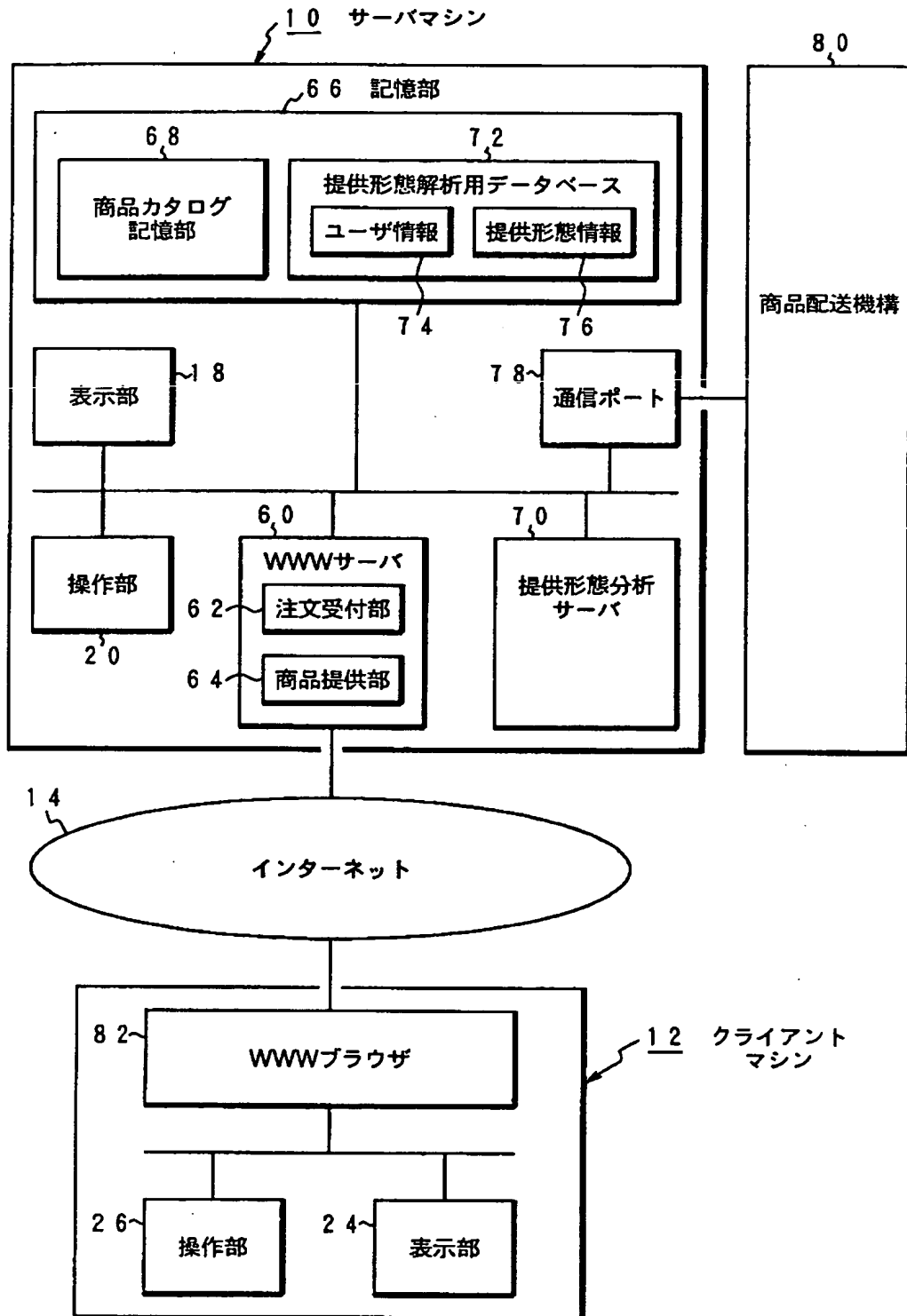
【図 3】

図 2 のサーバマシンのハードウェア構成図



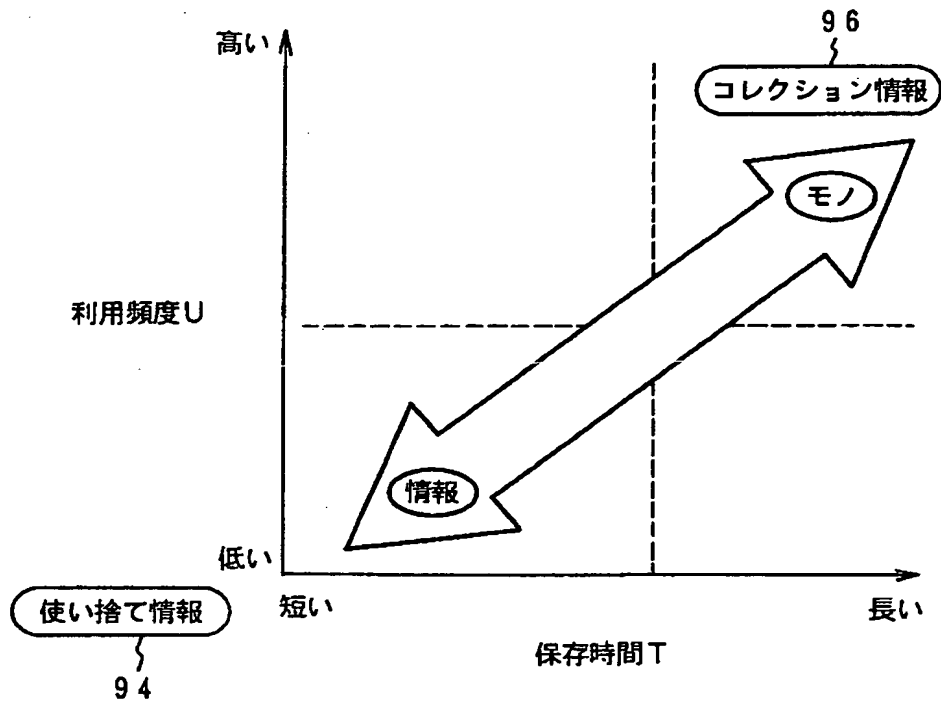
【図 4】

本発明の電子商取引を実行するサーバ及びクライアントの機能構成のブロック図



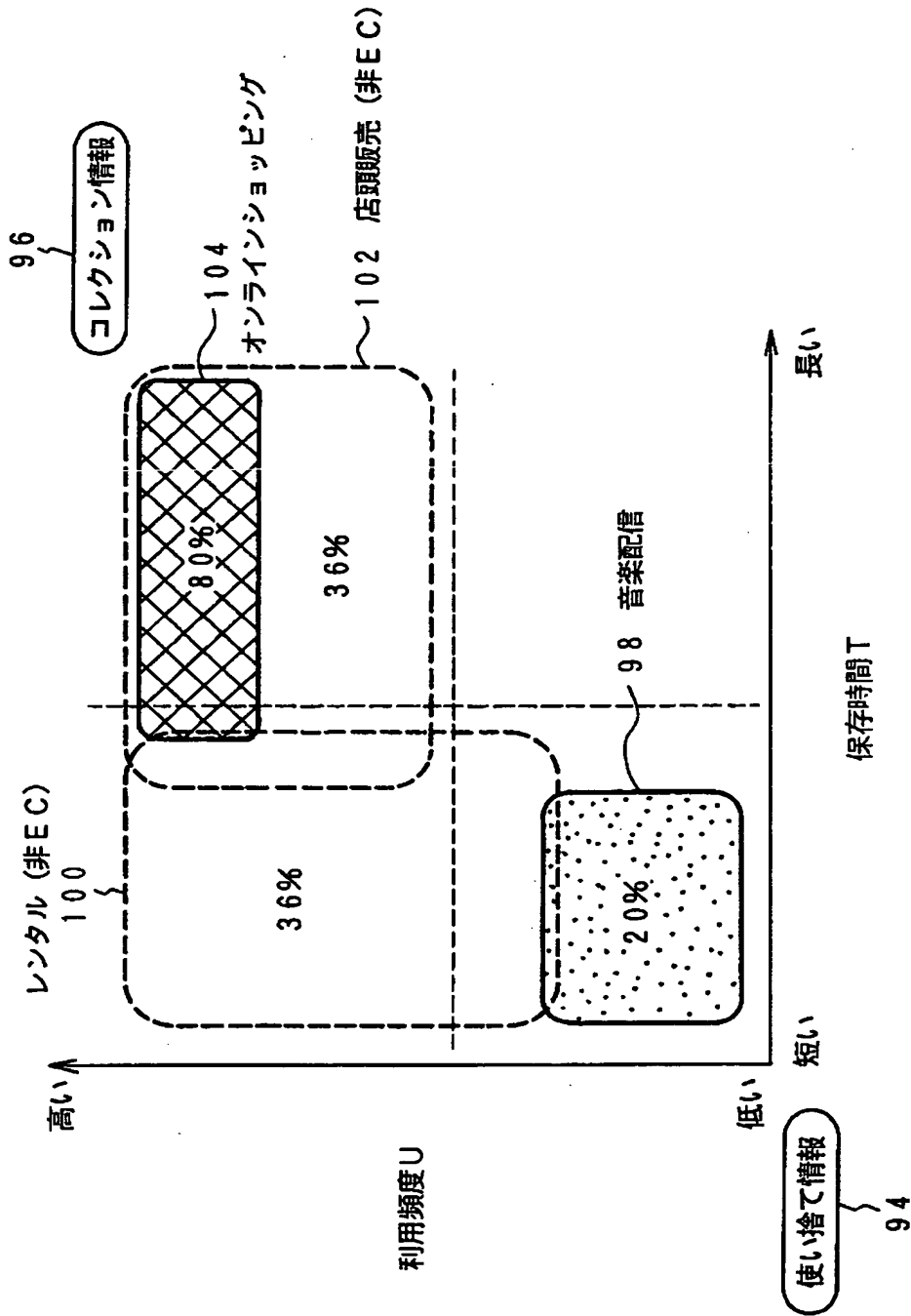
【図 5】

保存時間と利用頻度の二次元座標空間における情報とモノの位置関係の説明図



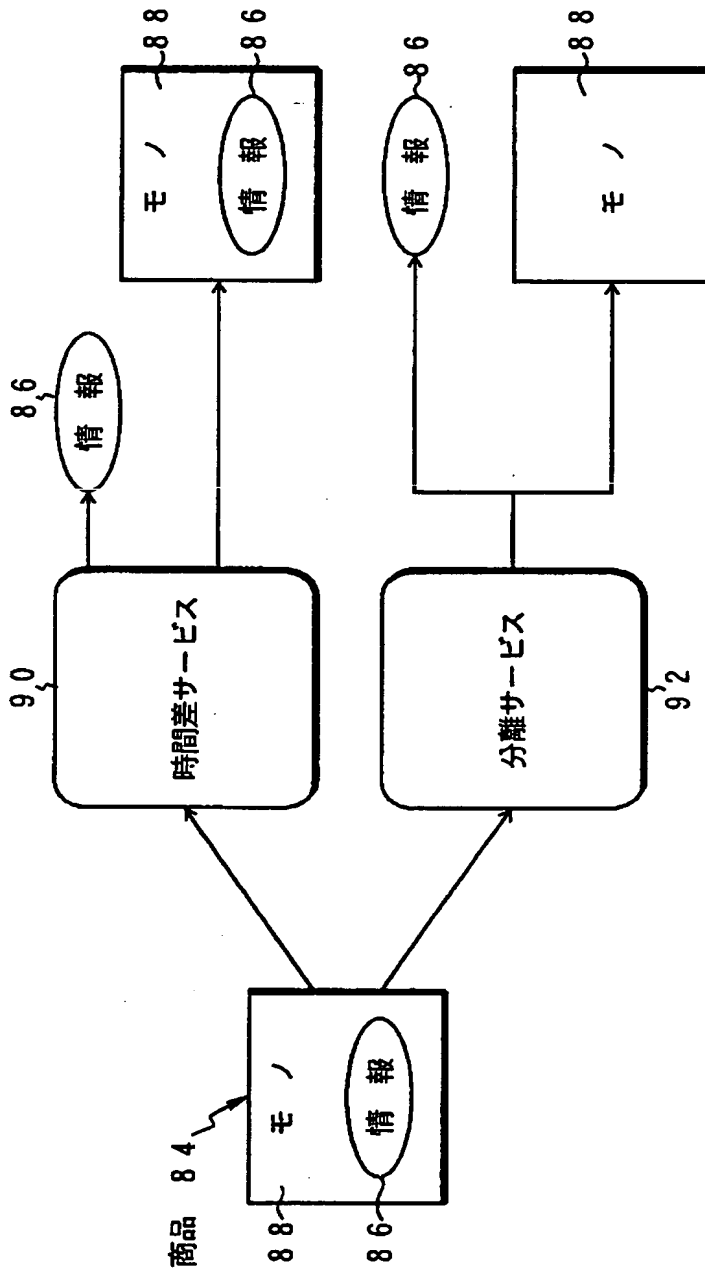
【図6】

既存の音楽業界における販売形態の説明図



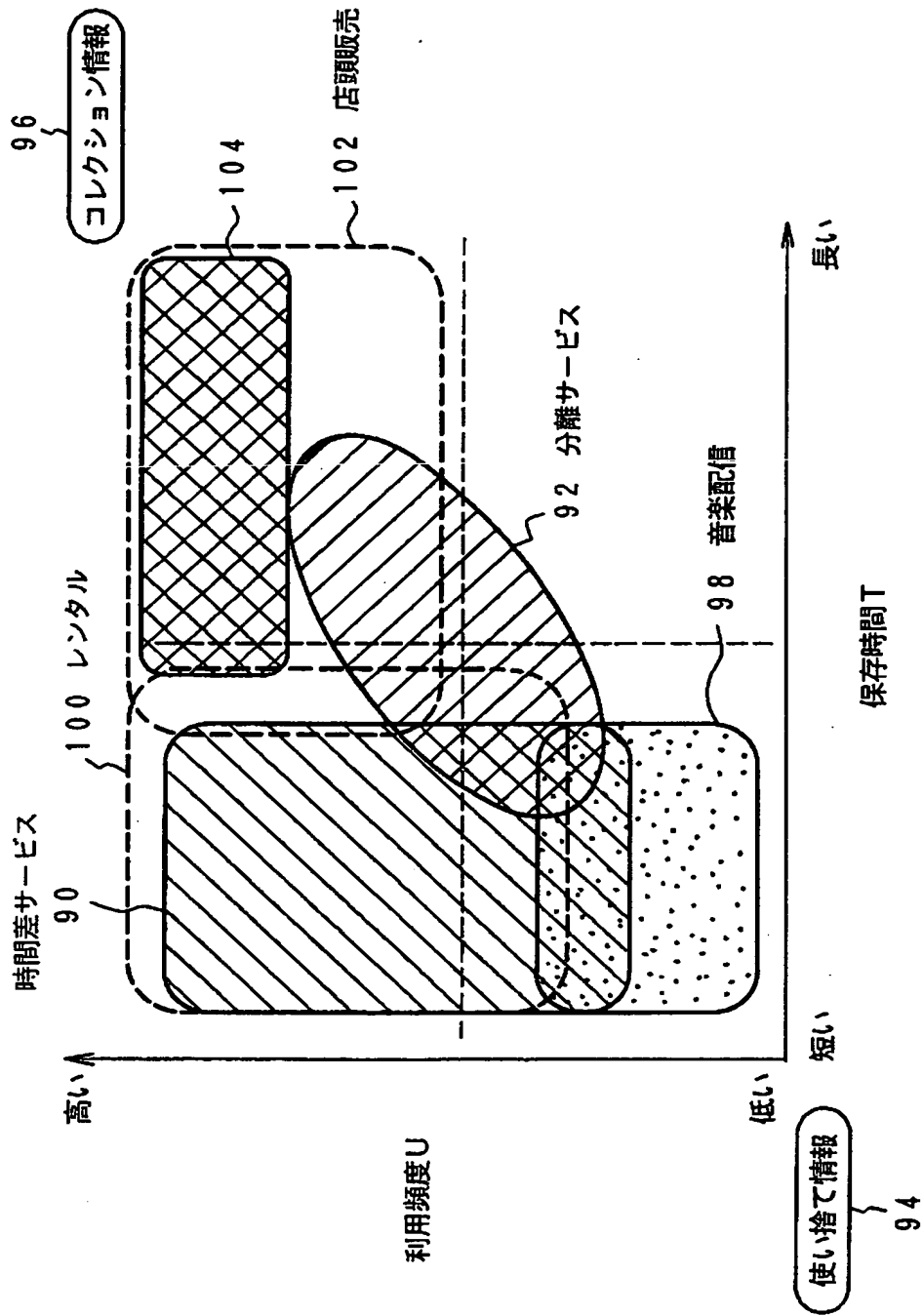
【図 7】

本発明における時間差サービスと分離サービスの説明図



【図 8】

本発明の時間差サービスと分離サービスを加えた販売形態の説明図



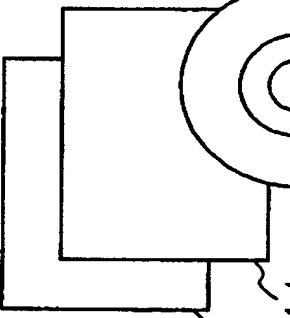
【図 9】

音楽配信における本発明の電子商取引に使用するユーザ提示画面の説明図

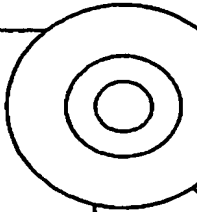
110 CD注文画面

タイトル 111


アーティスト名: XXXXX
アルバム名: YYYYY



112
114



116



118

ジャケット・ケース : ¥300 ☐

歌詞カード : ¥150 ☐

CD ☒ パッケージ

CD
曲データ購入の場合: ¥2000
それ以外: ¥2000

曲データ ¥200/1曲

☒ 10 曲

曲目選択画面へ 124

データの受け取り方法
☐ キオスク端末 ☒ 今すぐダウンロード
☐ コンビニ ☒ CDショップ ☐ 宅配便

購入 122

9

出 証 特 2000-3110726

【図 1 0】

書籍配信における本発明の電子商取引に使用するユーザ提示画面の説明図

130 書籍注文画面

132

著者名: XXXXX
著書名: YYYYY

134

Bookケース : ¥300

136

書庫
データ購入の場合: ¥500
それ以外 : ¥2000

138

書庫データ : ¥1500

パッケージ

142

データの受け取り方法 ☐ キオスク端末 ☒ ショップ ☐ 今すぐダウンロード
物品の受け取り方法 ☒ コンビニ ☐ 宅配便

144

書庫選択画面へ

146

購入

【図 11】

ビデオ配信における本発明の電子商取引に使用するユーザ提示画面の説明図

150 ビデオ注文画面

152

映画名: XXXX
主演者名: YYYY

154

156

158

160

ビデオケース : ¥300

ビデオテープ
データ購入の場合: ¥500
それ以外 : ¥2000

DVD
データ購入の場合: ¥1500
それ以外 : ¥3000

映像データ : ¥1500

パッケージ

映像選択画面へ ~166

データの受け取り方法 ☐ キオスク端末 ☒ 今すぐダウンロード
物品の受け取り方法 ☒ コンビニ ☐ ショップ ☐ 宅配便

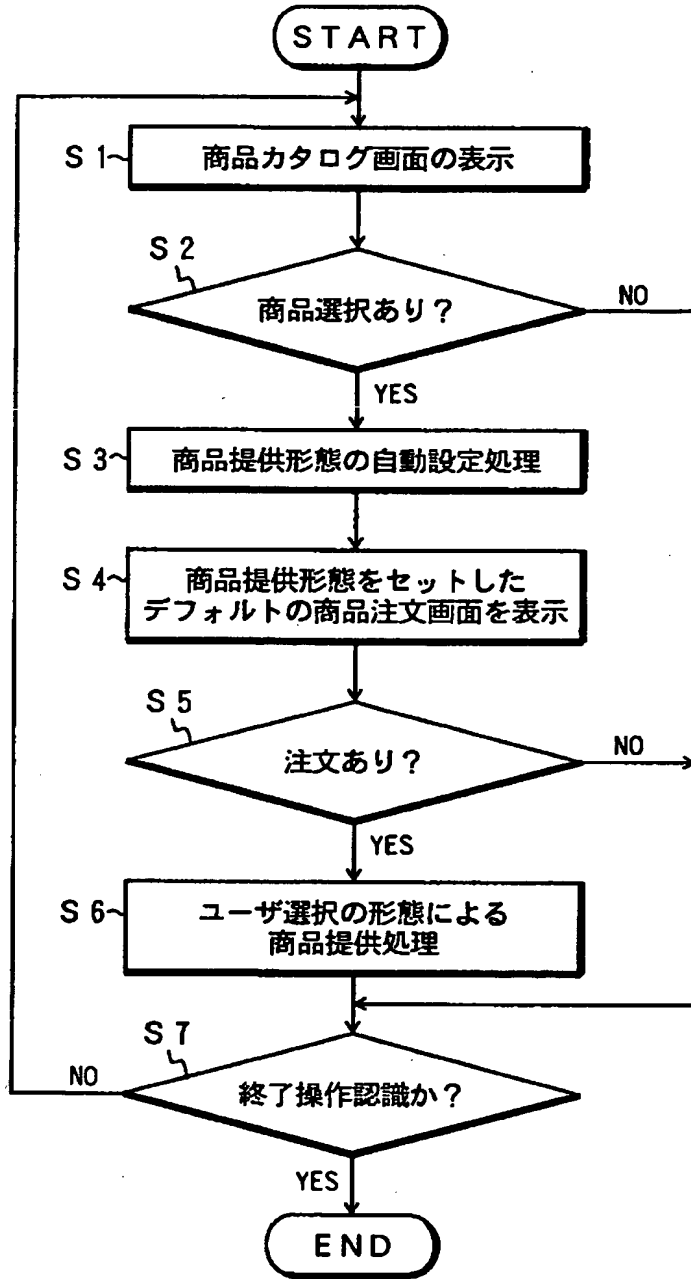
購入

164

162

【図 1 2】

本発明による電子商取引のフローチャート



【図 1 3】

図 4 の提供形態分析に使用するユーザアンケート情報の説明図

ユーザアンケート情報

項 目	詳 細	ユーザ選択項目
利用環境	通勤途中	○
	ドライブ中	
	自宅余暇時間	
	仕事中	
	その他	
好みの音楽	最新曲	
	歌謡曲	○
	演歌	
	ポップス	○
	ジャズ	
	クラシック	
	癒しBGM	
	その他	

【図 1 4】

図 1 3 のユーザアンケート情報から作成したユーザ情報の説明図

74 ユーザ情報

ユーザID	利用環境	好みの音楽	
a a a a	通勤途中	歌謡曲	ポップス

【図 1 5】

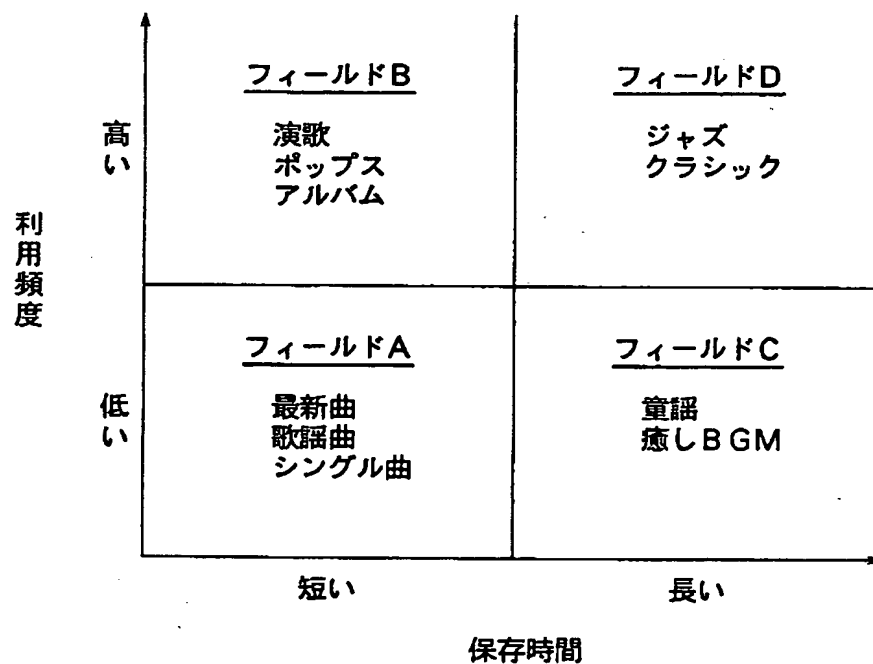
ユーザ利用形態を利用頻度と保存時間に変換する変換テーブルの説明図

利用環境変換テーブル

利用形態	利用頻度	保存時間
通勤途中	小	小
ドライブ中	小	小
自宅余暇時間	大	大
工作中	小	大
その他		

【図 1 6】

利用頻度と保存時間の二次元座標空間の説明図



【図 1 7】

図 1 6 に基づくフィールド番号と提供形態の対応テーブルの説明図

フィールド番号	提供形態
A	情報のみ
B	情報と C D を分離
C	C D のみ
D	C D のみ

【図 18】

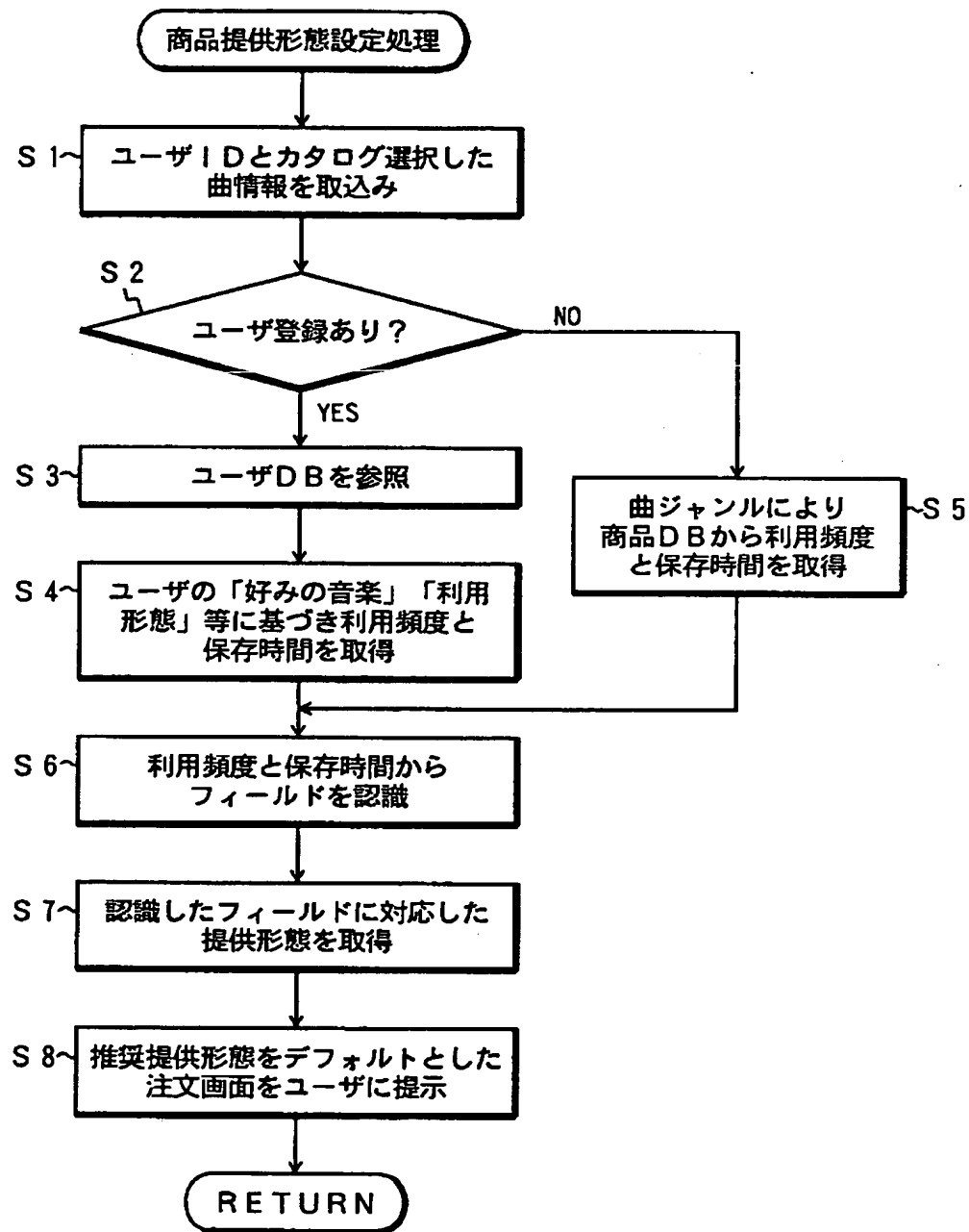
図 4 の提供形態分析に使用する提供形態情報の説明図

76

曲ジャンル	情報の分類	利用頻度	保存時間	ファイル番号	提供形態	利用形態蓄積
最新曲	使い捨て	小	短	A	情報のみ	CA, CB, CC, CD
歌謡曲	繰り返し	大	長	A	情報のみ	CA, CB, CC, CD
演歌	繰り返し	大	長	B	CD/情報	CA, CB, CC, CD
童謡	繰り返し	小	長	C	CDのみ	CA, CB, CC, CD
ポップス	繰り返し	大	短	B	情報/CD	CA, CB, CC, CD
ジャズ	繰り返し	大	長	D	CDのみ	CA, CB, CC, CD
クラシック	繰り返し	大	長	D	CDのみ	CA, CB, CC, CD
癒しBGM	繰り返し	小	長	C	CDのみ	CA, CB, CC, CD
シングル	使い捨て	小	短	A	情報のみ	CA, CB, CC, CD
アルバム	繰り返し	大	長	B	CD/情報	CA, CB, CC, CD

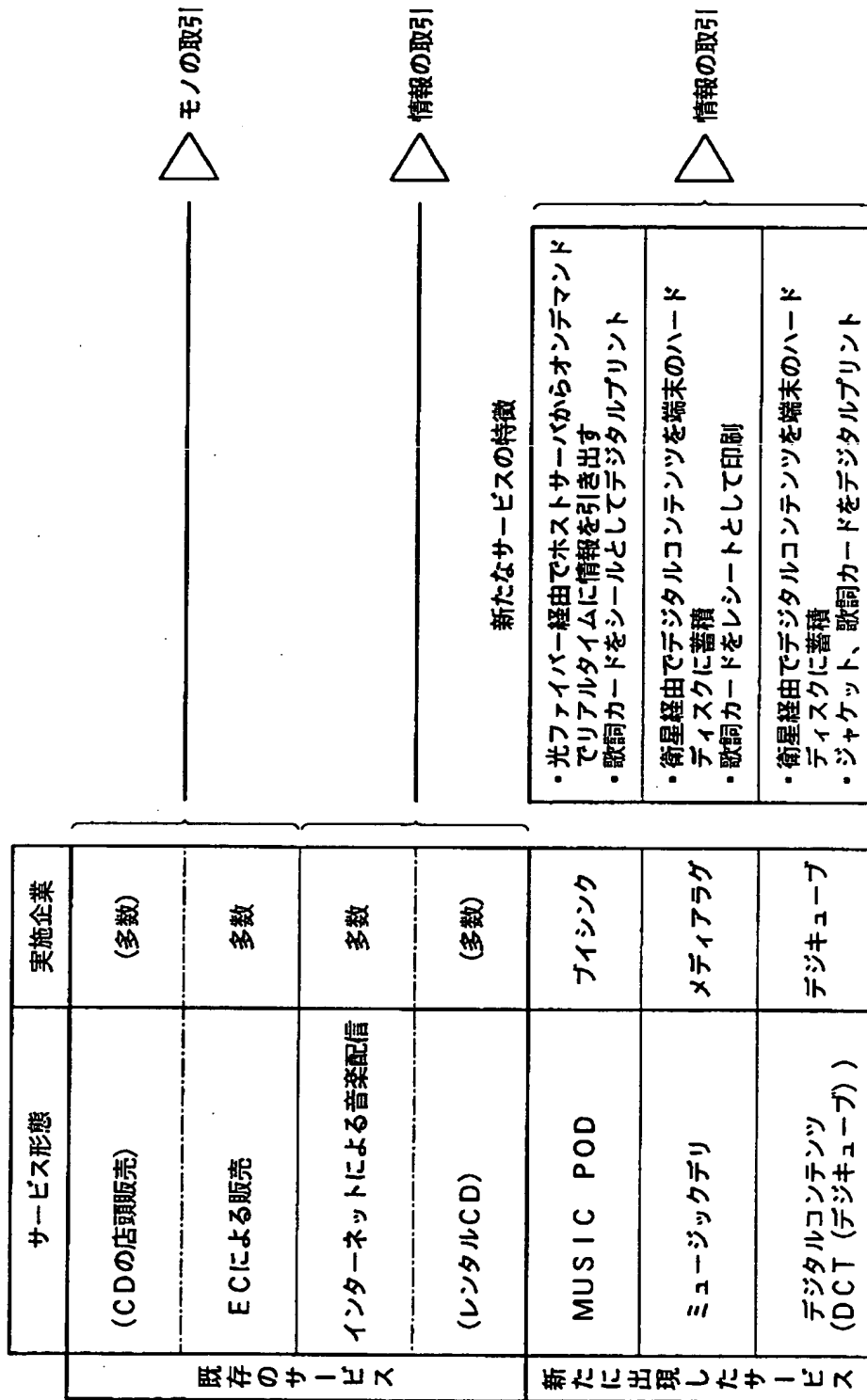
【図 1 9】

図 1 2 における商品提供形態の自動設定処理のフローチャート



【図 2 0】

音楽業界における商取引の一覧説明図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】店頭販売等の一般取引に対し電子商取引の割合を高める。

【解決手段】ネットワーク 1 4 を利用したクライアント 1 2 との間の電子商取引を行うサーバ 1 0 の電子商取引であって、販売される商品 8 4 を、情報 8 6 と物品（モノ） 8 8 に分離してクライアント 1 2 に注文対象として提示する注文受付部 6 2 と、クライアント 1 2 からの注文要求に基づいて、分離された情報 8 6、分離された物品 8 8 又はその組合せを選択してクライアント 1 2 に提供する商品提供部 6 4 を備える。商品提供部 6 4 は、分離した情報 8 6 を先行して提供した後に分離した物品 8 8 を提供する時間差サービスを行う。また商品提供部 6 4 は、分離した情報 8 6 と分離した物品 8 8 を各々単独で提供する分離サービスを提供する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日	1996年 3月26日
[変更理由]	住所変更
住 所	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名	富士通株式会社